

「新宿区健康づくり行動計画（平成24年度～平成29年度）」進捗状況 ～主な指標の達成状況～

大目標	中目標（大目標を達成するための具体的な目的）	小目標（中目標を達成するための方法、手段）	主な指標の達成状況
生活習慣病を予防します	メタボリックシンドローム該当者・予備群を減らすために、健康診査等を活用した健康管理を実践します	① メタボリックシンドロームに関する正しい知識や健診受診を促す健康教室や普及啓発を行います ② 健診受診率の向上をめざし、健診を受けやすい体制づくりを進めます ③ 保健指導の充実を図ります	◆ 特定健康診査受診率 平成22年度の現状数値31.5%から、26年度は3.1%上昇し、33.6%となりました。第二期特定健康診査等実施計画では、目標値を26年度は41%としているため、受診率向上が課題です。 ◆ 特定保健指導の実施率 平成22年度の現状数値8.9%から、26年度は5.2%増加し、14.1%となりました（平成25年度は7.7%のため、前年度比較でも増加しています。）第二期特定健康診査等実施計画では、目標値を26年度は25%としているため、更なる実施率向上に向けての取組みが必要です。
	運動・スポーツ活動の習慣化を推進します	① 運動・スポーツの魅力と必要性の理解を進めます ② 身近で気軽にできる運動・スポーツ環境を整備します ③ NPO・民間団体との運動・スポーツの事業間連携を強化します	◆ スポーツ・学習活動等を実施している人の割合 平成26年度第4回区政モニターアンケートでは、前年度と比較すると1.3%下回る結果となりました。
	適正飲酒の推進と喫煙者の減少をめざします	① 適正飲酒や喫煙・受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行います ② 禁煙指導の充実と受動喫煙の防止を推進します	◆ 多量飲酒者（毎日かつ1日平均3合以上飲酒している人）の割合 毎年ほぼ横ばいの状況が続いているため、引き続き適正飲酒に関する普及啓発を行っていきます。 ◆ 喫煙者の割合 20～39歳では、女性は減少していますが男性は横ばい、40～74歳では男女とも横ばいの状況です。引き続き、喫煙や受動喫煙に関する正しい知識の普及啓発を行っていきます。
	糖尿病の予備群・有病者を減らします	① 糖尿病に関する正しい知識や健診受診を促すための普及・啓発を行います ② 栄養のバランスを考えて食べる人を増やします ③ 肥満者を減らします ④ 高血糖者の保健指導の充実を図ります	◆ 肥満者（BMI25以上）の割合 20～39歳では、前年と比較し男女とも増加しています。40～74歳では、男性は減少傾向にある一方、女性は増加傾向にあります。食生活に関する知識の普及啓発を行うほか、保健指導や健康教室の実施により、肥満者の減少を図ります。 ◆ 糖尿病の予備群・有病者の割合 前年度と比較すると、男女とも微増しています。糖尿病に関する正しい知識の普及啓発とともに、高血糖改善のための保健指導や健康教室を継続するとともに、糖尿病重症化予防事業を実施していきます。
	口腔機能の維持・向上をめざします	① 自分の歯や口の健康を保つための知識を普及啓発します ② 歯科保健指導を充実します ③ 歯と口の健康を支える環境の充実を図ります	◆ 歯の本数（60歳時） 平成24年度、平成25年度と目標値の26本を達成したため、計画の「中間の見直し」で、目標値を27本に上方修正しました。26年度の実績は26.2本です。さらに歯科健康診査の普及に力を入れていきます。
総合的にがん対策を推進します	がん予防を推進します	① がん及びその予防に関する情報提供と普及啓発の充実を図ります ② たばこ対策を始めとした健康的な生活習慣を推進します ③ 肝炎ウイルス検診を推進します ④ 子宮頸がん予防ワクチン接種を推進します	◆ がんに関する正しい知識を持っている人の割合 平成25年度区政モニターアンケートで、がんに関する正しい知識として「がんを防ぐための新12か条」の各項目を知っているか、さらに実践しているかを調査しました。その結果、7項目以上知っている（実践している）人の割合は、「知っている」は77.8%、「実践している」は45.9%で、知っている人の割合に比べ、実践している人の割合は少ない結果となりました。正しい知識の普及啓発とともに、生活の中で実践できるよう普及啓発を行っていく必要があります。27年度に再調査を実施します。
	がんの早期発見・早期治療を推進します	① がん検診の受診率と精密検査受診率の向上をめざします ② 精度の高いがん検診を実施します ③ がんの早期治療を支援します	◆ がん検診受診率（胃がん、大腸がん、肺がん、前立腺がん、子宮がん、乳がん） 平成26年度は、前年に比べ各健診とも受診率は上昇しました。27年度からは新たな受診勧奨も始め、更なる受診率の向上を目指します。
	がん患者とその家族の苦痛や不安の軽減と療養生活の質の向上をめざします	① がん患者の在宅緩和ケアの充実と療養生活の質の向上をめざします ② 在宅療養に関する理解促進と相談体制の充実を図ります	◆ 「緩和ケア」について知っている人の割合 平成26年度の実績数値はありません。28年度に「新宿区高齢者保健と福祉に関する調査」で同じ調査を実施する予定です。

大目標	中目標（大目標を達成するための具体的な目的）	小目標（中目標を達成するための方法、手段）	主な指標の達成状況
こころの健康を大切にします	こころの健康づくりを支援します	① こころの病気について正しい知識を広めます ② ストレスと上手に付き合うためのストレスマネジメントを促進します ③ ストレスを軽減するために、休養の確保の重要性について普及啓発します	◆ゲートキーパー養成講座受講者数（累積実数） 平成26年度は、区職員研修計画に位置づけた講座等を引き続き実施しました。目標値については、25年度に29年度目標値（1,500人）に達成したため、2,500人に上方修正しました。今後は、受講者のレベルアップを検討していくとともに、新たに理容業者等を対象とした講座を実施するなど、地域のゲートキーパー養成にも取り組んでいきます。
	うつ等こころの不調への気づきや早期相談・早期治療を支援します	① こころの健康に関する自己診断力の向上をめざします ② 身近な人の気づき・声かけ・つながり・見守りを促進します ③ 身近で気軽に相談できる環境を整備します	
	こころの病気の早期回復と社会復帰、そして再発防止を支援します	① こころの健康づくりと社会復帰に向けて、地域との連携・協力を進めます ② こころの病気を持つ人や家族の安定した療養生活を支援します	
女性の健康づくりを推進します	女性の健康に関する拠点施設を整備し、正しい知識の普及を図ります	① 女性の健康に関する拠点施設を整備します ② ライフサイクルに応じた女性の健康管理に関する正しい知識の普及を図ります	◆「女性の健康支援」に関するホームページへのアクセス件数（年間） 「女性の健康支援」に関するホームページの情報充実（累積） ホームページのアクセス件数は、平成26年度は8,156件と目標の3,600件より大幅に伸びています。コンテンツ数も、26年度は10に増やし、内容を充実させました。 ◆「女性の健康づくり」に関する自主的な交流活動グループの設立や活動への支援 25年度に立ち上げた「乳がん体験者の会」に続き、26年度には「女性の健康づくりサポーターの会」を立ち上げました。 ◆（再掲）子宮がん（子宮頸がん・体がん）検診受診率（再掲）乳がん検診受診率 平成26年度から、これまでの対象者に加え、子宮がん20～40歳、乳がん40～60歳の偶数年齢の女性全員に、検診票の一斉発送対象者を拡大しました。受診率は、25年度に比べ上昇しましたが、受診勧奨を継続し、更なる受診率の向上を目指します。
	女性の健康を支える活動を推進します	① 女性の健康について相談する場や学習する場の充実を図ります ② 女性の健康づくりを進める交流活動を支援します ③ ネットワークを構築し、女性の健康づくりを推進します	
	女性特有のがん対策を推進します	① 再掲 子宮頸がん予防ワクチン接種を推進します ② 子宮頸がん検診及び乳がん検診の受診率の向上をめざします	
健康的で豊かな食生活を実践できる食育を推進します	生涯にわたって健康をつくる食習慣を実践します	① 規則正しい食生活を支援します ② 自立した食生活を送るための知識や技術の向上を図ります ③ 食の安全について正しい情報提供を行います	◆食育に関心を持っている区民の割合 平成26年度区政モニターアンケートでは、わずかに減少しています。 ◆毎日朝食を食べる子どもの割合 前年度に引き続き減少しています。 ◆5歳で箸が正しく持てる園児の割合 毎年ほぼ横ばいの状況にあります。 ◆食事を残さず食べるようにしている子どもの割合 平成22年度から増加していましたが、26年度は前年と比べて3%減少しています。 ◆東京都産の農産物を3品目以上、学校給食に取り入れている小中学校数（年間） 平成26年度の実績は26校で、前年比較で5校増加し、目標を達成しました。
	食の大切さを見直し、食文化を継承していきます	① 食に感謝するところを育み食事のマナーを身につけます ② 食文化の継承のための活動を支援します ③ 食の生産や流通等について理解を深め、環境と調和を図っていきます	
	食を通じたコミュニケーションを広げます	① 食に携わるネットワークを活用した食育を推進します ② 共食を通じた食のコミュニケーションを拡大します ③ 食育ボランティアの育成と活動を支援します ④ 食を通じて国際交流や多文化共生を推進します	